

「地域づくり型生涯学習」講座コーディネート事業

「関ヶ原町人権教育研修会」にて講話を実施



ここまで分かった同和問題の歴史

～今教科書ではこう書かれています～

講師 岐阜聖徳学園大学 非常勤講師 小森 保直 氏

日時 令和5年12月7日(木) 17:30～19:00

場所 関ヶ原ふれあいセンター 視聴覚室

対象 関ヶ原町職員、学校関係者、社会教育関係者等 80名

内容

- ・奈良時代、平安時代の身分制度について
- ・室町時代以降の「ケガレ」に係る仕事について
- ・江戸時代の身分差別について
- ・近代の身分解放令から差別の構造を崩す取組について

●参加者の感想

- ・講演を聴くまでは漠然と部落差別が存在するという認識でしたが、「ケガレ」に係る仕事のもとになっているなどの歴史的背景を学ぶことができ、同和問題がなぜ起きたか理解することができました。
- ・同和問題の歴史的背景を始めて知ることができた。子どもたちに教えていくために、今後も同和問題について深く研修する必要があると感じた。
- ・少しでも周りの人間が人権感覚を磨くことができるよう、自分ができるところを実践したいと思った。

●主催者の感想（コーディネート事業を利用して）

- ・専門家の先生を招いてご講演いただいたことで、大変勉強になった。今後も継続して町職員を中心とした参加者に対して、人権問題の啓発と人権意識の向上を図っていきたい。